

仙台市地域公共交通計画の変更について（新旧対照表）

ページ 5-1

5. 公共交通体系を実現するための施策

5.1 地域公共交通計画の取組内容

地域公共交通計画の目標を実現するために必要な取組内容について実施するエリア及び区間を整理します。各取組内容については、仙台市が主体となり交通事業者^{※1}や交通管理者^{※2}、道路管理者^{※3}などの各関係者と連携を図りながら実施計画を策定して進めることとし、詳細は「5.2 施策概要及び取組方針」にて整理します。

また、地域公共交通計画策定後、表 5-1 に記載の実施計画を策定します。また、SDGs との関係性についても各施策に関する SDGs の目標を示します。

表 5-1 地域公共交通計画で取組む施策の一覧

公共交通の基本方針	個別施策	取組内容	エリア		区間			実施計画 策定予定
			みんなで 支える路線 バスエリア	みんなで育む 多様な交通 確保エリア	バス幹線	バス準幹線	フィーダー	
1.公共交通軸の形成・機能強化 2.路線バスの利便性向上	①バス幹線区間・バス準幹線区間における利便性向上策の実施	1) バス幹線区間及びバス準幹線区間における事業者間調整 2) バス待ち環境の整備 3) 走行環境等の整備	●		●	●		●
	②フィーダー区間における利便性向上策の実施	1) フィーダー区間の事業者間調整 2) 乗り換えに関する情報提供の改善 3) 乗り換え時刻表の掲示 4) バス待ち環境の整備	●				●	●
	③既存鉄道の機能強化	1) 仙台駅における乗り換え利便性向上策の実施 2) 泉中央駅周辺における交通環境改善策の検討	●					
3.地域交通の維持・確保・充実	④地域が主体となった移動手段の確保・充実	1) 地域の実情に合った移動手段の確保 2) 地域の移動手段確保について考える意見交換会の実施 3) 地域交通を利用しやすい運賃策等の検討・実施		●				●
	⑤地域交通と路線バス等をつなぐ交通結節点整備	1) 地域交通結節点整備 2) 医療施設や商業施設等と連携した乗り換え停留所の設置		●				●
4.都心回遊交通の強化	⑥公共交通を利用した都心の回遊の促進	1) 都心部における均一運賃制度の検討・実施 2) 均一運賃制度の更なる利用促進 3) 公共交通を利用した回遊のあり方検討	●					
5.公共交通のシームレス化・利用促進	⑦自動運転等新技術の活用検討	1) 自動運転等新技術の活用検討	●					
	⑧バス待ち環境整備	1) スマートバス停の導入 2) バス待ち環境の整備	●					
	⑨公共交通の情報提供や案内誘導の改善	1) 公共交通の情報提供の改善 2) 駅等交通結節点における案内誘導の改善 3) 路線バスの共通ナンバリングの導入検討	●	●				●
	⑩運賃策等による公共交通利用の促進	1) 一日乗車券等の実施 2) 新たな運賃・乗車券制度の検討 3) 公共交通利用者の優遇策の検討	●	●				●
	⑪キャッシュレス決済の利活用の促進	1) ICカード乗車券の利用・導入の促進 2) キャッシュレス決済の検討 3) ICカード乗車券の更なる利便性向上の検討	●	●				
	⑫駅やバス・地下鉄車両等のバリアフリー化	1) 鉄道駅バリアフリー化の推進 2) 誰にでも使いやすい移動車両等の導入	●	●				
	⑬モビリティ・マネジメント等の推進	1) 住民モビリティ・マネジメント 2) 転入者モビリティ・マネジメント 3) 学生・生徒モビリティ・マネジメント 4) 公共交通利用促進イベントの開催 5) 小学生への公共交通に関する学習の実施 6) バーク&ライド等の推進	●	●				●
	⑭MaaSの推進	1) MaaSの推進	●	●				
	⑮旅行者等が移動しやすい環境の整備	1) 来訪者向け公共交通施策の実施 2) 来訪者向け交通手段の利用促進	●	●				●

※1：鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者など

※2：宮城県警察

※3：国土交通省、仙台市

変更前

5. 公共交通体系を実現するための施策

5.1 地域公共交通計画の取組内容

地域公共交通計画の目標を実現するために必要な取組内容について実施するエリア及び区間を整理します。各取組内容については、仙台市が主体となり交通事業者^{※1}や交通管理者^{※2}、道路管理者^{※3}などの各関係者と連携を図りながら実施計画を策定して進めることとし、詳細は「5.2 施策概要及び取組方針」にて整理します。

また、地域公共交通計画策定後、表 5-1 に記載の実施計画を策定します。また、SDGs との関係性についても各施策に関する SDGs の目標を示します。

表 5-1 地域公共交通計画で取組む施策の一覧

公共交通の基本方針	個別施策	取組内容	エリア		区間			実施計画 策定予定
			みんなで 支える路線 バスエリア	みんなで育む 多様な交通 確保エリア	バス幹線	バス準幹線	フィーダー	
1.公共交通軸の形成・機能強化 2.路線バスの利便性向上	①バス幹線区間・バス準幹線区間における利便性向上策の実施	1) バス幹線区間及びバス準幹線区間における事業者間調整 2) バス待ち環境の整備 3) 走行環境等の整備	●		●	●		●
	②フィーダー区間における利便性向上策の実施	1) フィーダー区間の事業者間調整 2) 乗り換えに関する情報提供の改善 3) 乗り換え時刻表の掲示 4) バス待ち環境の整備	●				●	●
	③既存鉄道の機能強化	1) 仙台駅における乗り換え利便性向上策の実施 2) 泉中央駅周辺における交通環境改善策の検討	●					
3.地域交通の維持・確保・充実	④地域が主体となった移動手段の確保・充実	1) 地域の実情に合った移動手段の確保 2) 地域の移動手段確保について考える意見交換会の実施 3) 地域交通を利用しやすい運賃策等の検討・実施		●				●
	⑤地域交通と路線バス等をつなぐ交通結節点整備	1) 地域交通結節点整備 2) 医療施設や商業施設等と連携した乗り換え停留所の設置		●				●
4.都心回遊交通の強化	⑥公共交通を利用した都心の回遊の促進	1) 都心部における均一運賃制度の検討・実施 2) 均一運賃制度の更なる利用促進 3) 公共交通を利用した回遊のあり方検討	●					●
5.公共交通のシームレス化・利用促進	⑦自動運転等新技術の活用検討	1) 自動運転等新技術の活用検討	●					
	⑧バス待ち環境整備	1) スマートバス停の導入 2) バス待ち環境の整備	●					
	⑨公共交通の情報提供や案内誘導の改善	1) 公共交通の情報提供の改善 2) 駅等交通結節点における案内誘導の改善 3) 路線バスの共通ナンバリングの導入検討	●	●				●
	⑩運賃策等による公共交通利用の促進	1) 一日乗車券等の実施 2) 新たな運賃・乗車券制度の検討 3) 公共交通利用者の優遇策の検討	●	●				●
	⑪キャッシュレス決済の利活用の促進	1) ICカード乗車券の利用・導入の促進 2) キャッシュレス決済の検討 3) ICカード乗車券の更なる利便性向上の検討	●	●				
	⑫駅やバス・地下鉄車両等のバリアフリー化	1) 鉄道駅バリアフリー化の推進 2) 誰にでも使いやすい移動車両等の導入	●	●				
	⑬モビリティ・マネジメント等の推進	1) 住民モビリティ・マネジメント 2) 転入者モビリティ・マネジメント 3) 学生・生徒モビリティ・マネジメント 4) 公共交通利用促進イベントの開催 5) 小学生への公共交通に関する学習の実施 6) バーク&ライド等の推進	●	●				●
	⑭MaaSの推進	1) MaaSの推進	●	●				
	⑮旅行者等が移動しやすい環境の整備	1) 来訪者向け公共交通施策の実施 2) 来訪者向け交通手段の利用促進	●	●				●

※1：鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者など

※2：宮城県警察

※3：国土交通省、仙台市

変更後